

クラス番号	616	担当教員名	田中 千枝子
テーマ	事例で展開する保健医療領域のソーシャルワーク実践		
著書・論文	責任編集「介護・福祉のための質的研究法」中央法規（2013） 著書「保健医療ソーシャルワーク論」勁草書房(2008) 編著「よくわかる医療福祉」ミネルヴァ(2009) 編著「保健医療サービス」中央法規（2010）		
研究課題等	HIV 若年認知症 スモン 退院支援 困難事例へのソーシャルワーク スーパービジョン		

ゼミナール概要

キーワード：保健医療領域のソーシャルワーク スーパービジョン 地域連携

目的、内容、方法等：

ソーシャルワークの専門職養成を目指して、実践に即した姿勢がとれ、基本的に必要な知識や技術を身につけることを目的に、様々な保健医療領域における事例や現場のフィールドをもとに、学習を進めていく。

毎回のゼミでは、担当の報告者を決め、既存の事例をもとに、分析に必要な知識を前もって調べレポートする。そしてゼミでは事例のソーシャルワーク・アセスメントおよびプランニングを中心にディスカッションを行う。また事例によっては、ロールプレイをすることで、リアリティーを追求する。

さらに 15 回の授業時間以外のエクストラとして、ゼミ合宿を年 1～2 回計画し、卒業論文に向けて自分の研究対象を定めていく助けにする。また医療福祉コースで企画実施しているケーススタディクラブの運営に積極的に参加し、現場の先輩 MSW や PSW と知り合うことで、SW になっていくことのイメージ作りをする。

ゼミ運営の方法は、15 名定員のゼミ生を 3 グループに分け、5 名ずつそれぞれによるフィールドワーク、見学、グループ作業やディスカッション・発表を繰り返す。グループ活動によるゼミ仲間作りを推進し、各人の積極的なゼミ企画への関与が可能になるようにする。

授業計画：

前期と後期で同じく繰り返し コース行事で変更有

- ① オリエンテーション 授業契約 グループ分け
- ② 事例Ⅰ
- ③
- ④ 事例Ⅱ
- ⑤
- ⑥ 事例Ⅲ
- ⑦
- ⑧ フィールドワーク前報告
- ⑨ フィールドワーク
- ⑩ フィールドワーク後報告
- ⑪ 課題事例Ⅰ グループ作業
- ⑫ 課題事例Ⅰ発表
- ⑬ 課題事例Ⅱ グループ作業
- ⑭ 課題事例Ⅱ発表
- ⑮ ゼミ合宿に向けた準備作業

担当教員からのメッセージ

日本福祉大学に来て 9 年になります。 昨年は 1 年間サバティカルでお休みをいただき、心身ともにリフレッシュしました。今年度からまた新たに、ソーシャルワークの専門家を育てる仕事をして行く決意を固めています。学部学生が卒業後ソーシャルワーカーとして、患者さんやご家族のお役にたてるように、実践的な教育をしたいと思っています。また忙しいゼミ運営は、学生の仲間作りを起点に、その仲の良さをもって乗り切ります。今までのゼミ生はそのほとんどが MSW か PSW ないしは就労支援や人権擁護の SW として、今でも励まし合い、社会で活動しています。そうした卒業生と皆さんを繋げ、広い分野で全国に活躍の場を得ていくような、好奇心いっぱいの意欲的・活動的なゼミ活動をしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。